

R1年度 ガイドライン評価改善シート

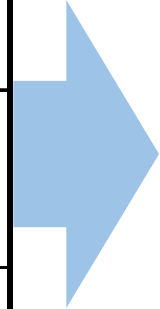
施設名 ( IPPPO うめな園 )

作成日時 ( 年 月 日 )

代表	施設長	本部
印		

H30年度 改善への取り組み	
今年度の施設目標	<b>1階：アセスメントを基にした個別の対応・ADLの習得</b> <b>2階：支援者と1対1の学びの中から小集団への般化を目指し、対人関係・社会性スキル、コミュニケーションの向上を図る。</b>

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置数は適切である。</li> <li>・活動等のスペースが利用人数によって狭く感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所側ではその日の利用人数によってスペースを使い分け、子どもが狭く感じないように工夫配慮している。</li> </ul>
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に引き続き職員が参画しているか。	新人スタッフでも正しい目標設定をし、振り返りできるように子どもたちの特性を正しく学べる機会を多く作る。 （リタリコの研修動画、専門家コンサルの活用） ・中堅スタッフ以上はPDCAサイクルの機会設定の定期化を検討していく。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援・地域支援の具体的な支援設定がなされていない。</li> <li>・外部機関との交流の足りなさ。</li> </ul>	近隣の幼稚園との交流の場を設定していく 併行通園している子は違う幼稚園での交流を楽しめるよう計画する。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関や保護者との連携は取れている。</li> <li>・家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の具体的な学びの場を検討していく。</li> <li>リタリコの活用</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との交流がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内での行事が定期的に行われていない。</li> <li>・まずは職員が地域への活動に参加していく、</li> <li>・保護者の生活スタイル、子どもの特性への配慮として、面談、参観日を同日にして個別化したか、保護者は物足りなさを感じてしまったのか。</li> <li>・親子遠足を開催し親子ともに交流の場を求めた。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生を想定した訓練、感染症マニュアルを保護者に対してきちんと周知できていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所側としては子どもの特性に合わせて、活動に取り入れていることを、お便りなどに周知していく。</li> <li>また、個別での面談時に具体的な内容とこどものあられ等を知らせていく</li> </ul>



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の利用人数に合わせた個別のスケジュールスタッフの配置、保育室のエリア（生活・遊び・活動）を明確に設定している</li> <li>・集団活動につなげられる個別活動の取り組み。 （ルールのある活動・ごっこ遊び・言葉のやりとり等を個別活動に取り入れていく）</li> <li>・職員のスキルアップを図るため専門家におけるコンサルテーション、勉強会への参加。</li> <li>・子供だけでなく、保護者の気持ちに寄り添うことで信頼感を高めスタッフ間で情報共有をすることで支援の統一化をはかっている。</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人のころから正しく障害の特性の理解を身につけるため、スタッフのシフトに合わせて職場内での研修の機会を作っていく（リタリコでの研修・職場内でのスタッフの動画を見ての勉強会をしていく）。</li> <li>・避難訓練に向けて活動に取り入れている内容を保護者に周知する。</li> <li>・地域社会との交流 （幼/保との連携 外部からの芋ほり参加）</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、支援にあたっての資質向上のために研修時間をきちんと確保していく（個々の継続的なアプローチについて・個々のできる芽生えに対しての見直し・困難な場面でも統一した支援への取り組みについて・障がい特性の理解等・個人での研修参加への取り組み）</li> <li>・地域社会との交流の機会を職員自ら積極的に設けていく。</li> <li>・1Fと2Fに分けた保護者会の開催を検討する。</li> <li>・防災訓練・感染症予防にむけて活動に取り組んでいることを連絡帳・お便りなどに伝えていく また個別支援計画の中にも記載し 具体的なあらわれを面談の中で保護者に伝えていく</li> </ul>

自己評価を行っての事業所としての感想など
事業所としては、支援について保護者への対応をもっと向上させていきたいと思っていますが、アンケートでは活動スペースや地域の交流など、目につきやすい部分での指摘が多く感じられる。アンケートの中で個の活動内容が具体的に子どもの〇〇につながっていると、保護者が実感できる支援を目指していきたい。 ・アンケートから保護者が、地域との交流、保護者同士の連携等を親子ともに求めているように感じた。声に出せない保護者の声を今後は定期的に相談会などを設けるなどし、気持ちを表出できる場を検討していきそこで出た意見を今後の支援に生かしたい。 ・保護者同士、支援者との交流を深める。

来年度の施設目標	<b>防災訓練、感染症予防についての取り組みを広く周知していく。</b> <b>ペアレントトレーニングを学び相談会等を通して保護者が育児を楽しみ自信を積み重ねていけるようにする。</b> <b>地域社会との交流をはかる。</b>
----------	--